

キャブロック 施工説明書 連結

必ずお読みください

施工業者様用



本社：〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目15番10号
 ■ダイヤルイン 市外局番 (087)
 北海道東北営業グループ / TEL 825-3632 FAX 825-3645
 関東営業グループ / TEL 825-3621 FAX 825-3645
 中部営業グループ / TEL 825-3622 FAX 825-3646
 近畿営業グループ / TEL 825-3623 FAX 825-3647
 中四国営業グループ / TEL 825-3624 FAX 825-3648
 九州営業グループ / TEL 825-3625 FAX 825-3649
 特需営業グループ / TEL 825-3662 FAX 825-3669
 テクノ営業グループ / TEL 825-3651 FAX 825-3641

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の商品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行った場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



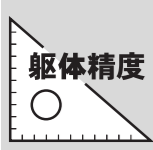
屋外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



傷注意

施工時に部材表面の化粧紙を傷付けないようご注意ください。



躯体精度

床の水平度、壁の直角を確認の上、設置してください。



水・湿気禁止

屋内であっても直接水がかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



溶剤厳禁

水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。



火気厳禁

本製品は木質製品です。火気には十分お気を付けてください。



粘着テープ使用禁止

化粧面に粘着テープ（セロテープ・シール等）を貼らないようにしてください。

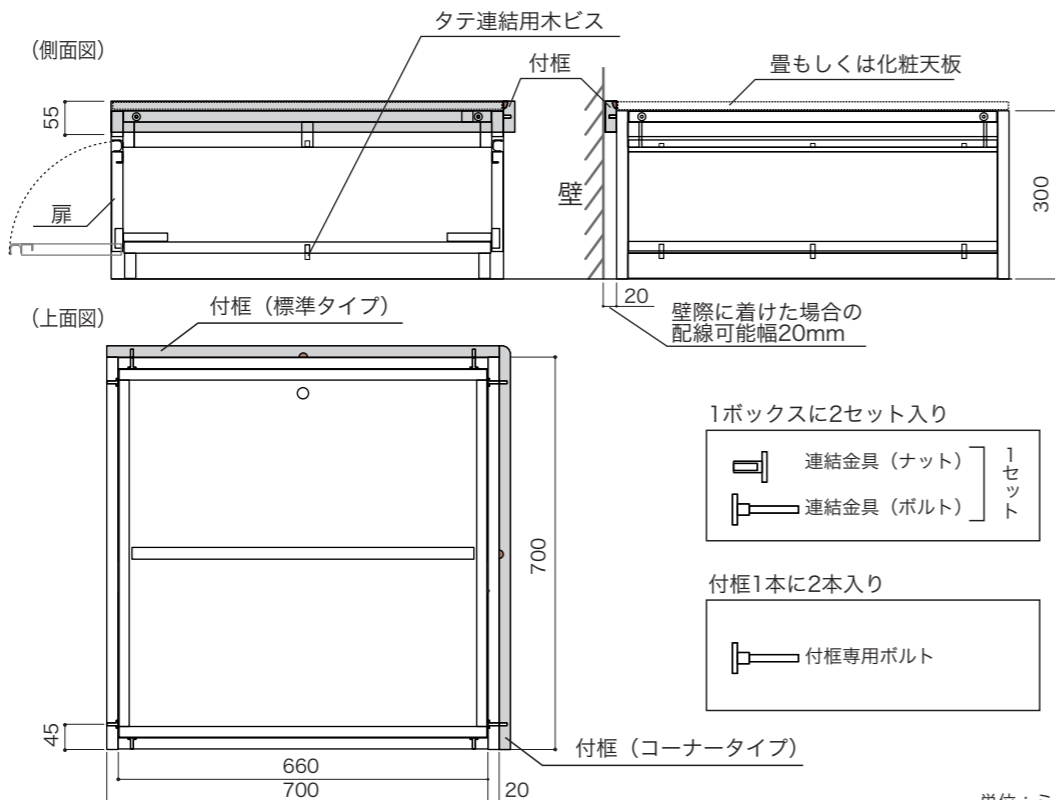
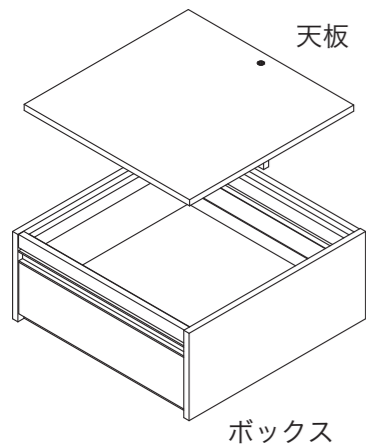


床強度確保

床の強度を十分に確保してください。
 (303mmピッチの根元に12mm合板、もしくは15mmパーティクルボードの捨て貼りをし、その上に仕上げ材を施工していること)

製品の構成

例：スタンダードボックス (扉タイプ)

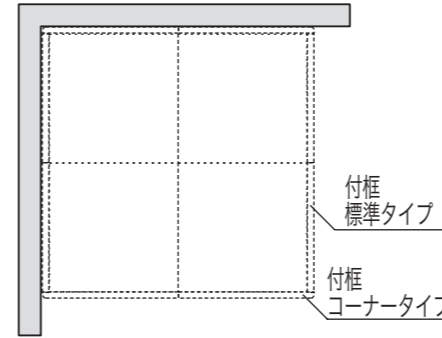


施工手順

※ボックスのタテ連結については別途裏面をご覧ください。 ➡ **ボックスのタテ連結**

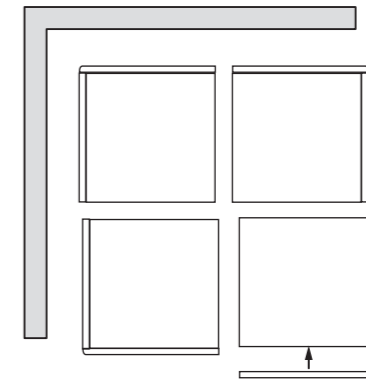
1 ボックスを置く位置、向きを決めます。

※ このとき、扉、引出しの向きにご確認ください。
 ※ コーナー部分や入隅部分は付框の種類が異なります。
 ※ 長物（カーペットなど）を収納する予定がある場合は連結予定部分の扉をはずしてから施工にかかります。
 ※ 設置予定位置にコンセントがある場合は、付框幅20mmの空間を利用して配線することが可能です。（左側面図参照）



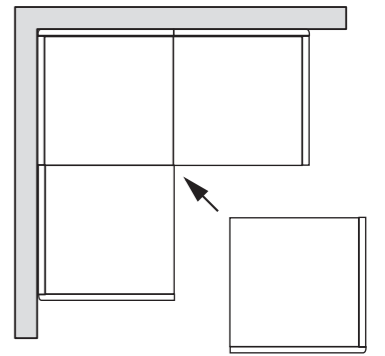
2 それぞれのボックスに付框を取り付けます。

➡ **付框の取り付け**



3 ボックスを設置場所まで移動させ、ボックス同士を連結させます。

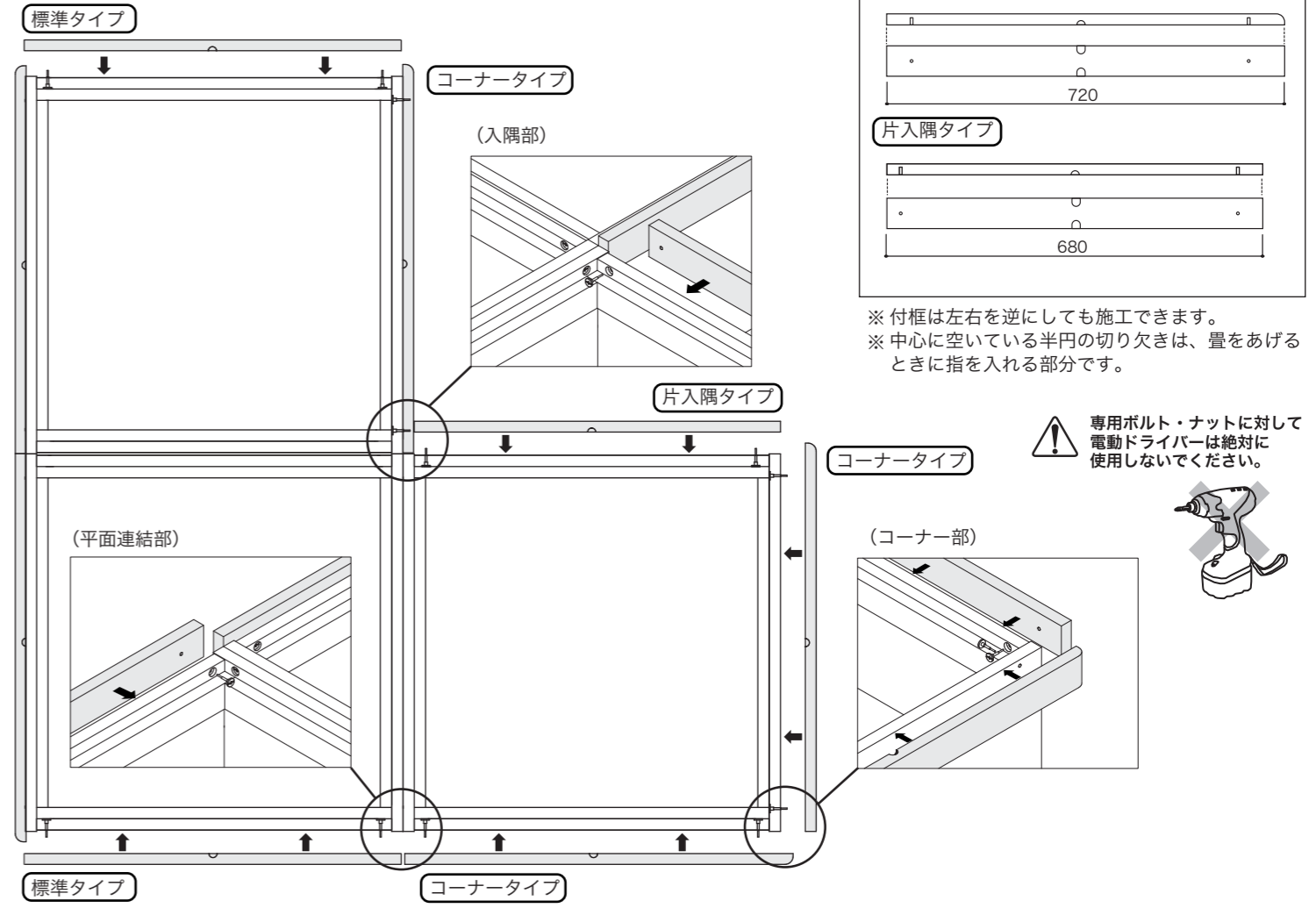
➡ **ボックスのヨコ連結**



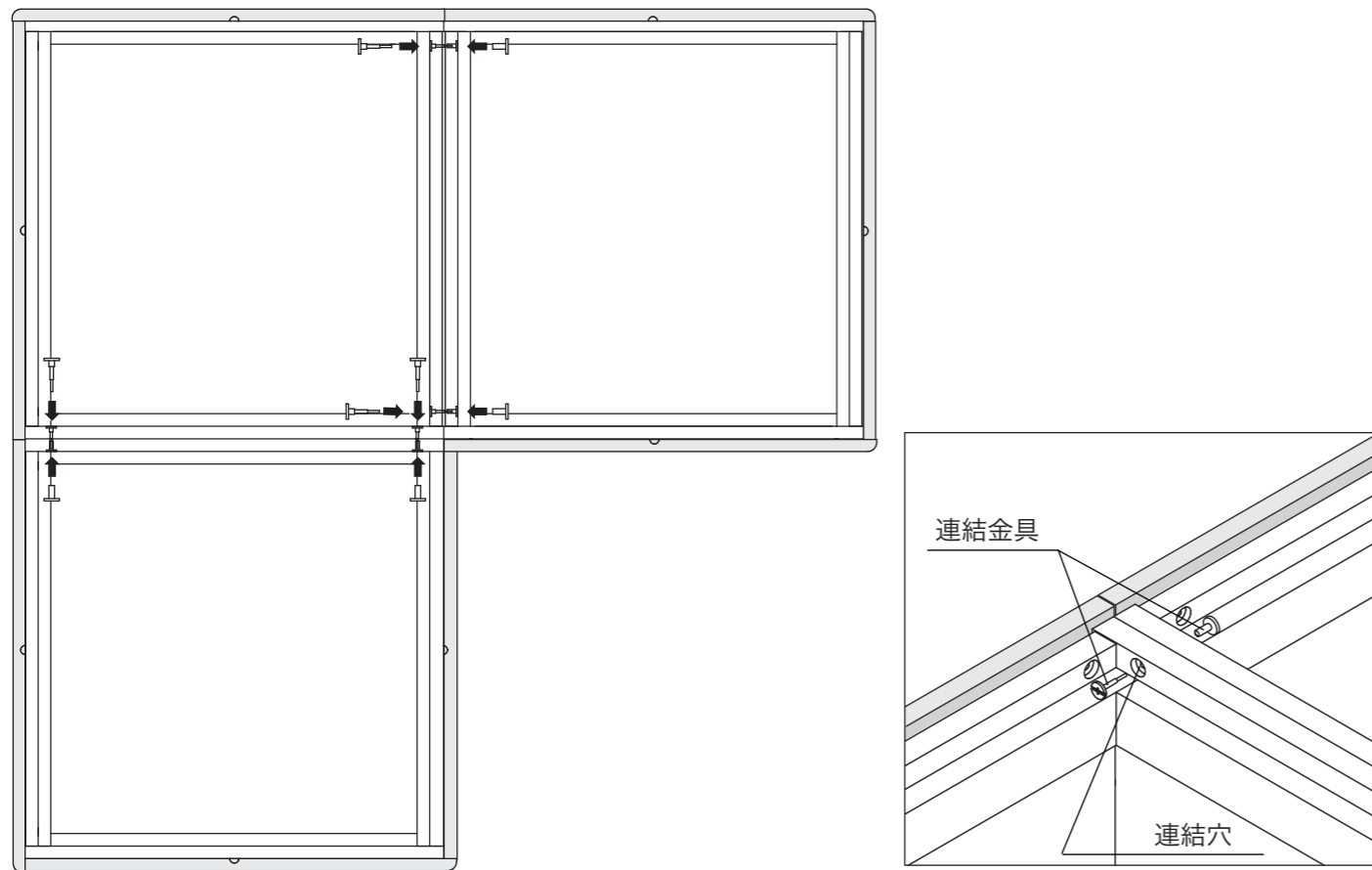
4 ボックスの天板をすべてはめ込み、上部に薄量もしくは化粧天板を乗せれば完成です。 ➡ **薄量・化粧天板の敷き詰め**

付框の取り付け

- 1・付框には右の三種類があります。
- 2・下図を参考に、取り付ける框の種類と位置を確認します。
- 3・天板をはずし、連結穴に専用ボルトをはめて付框の鬼目ナット部分に差し込み、ドライバで締めて固定します。
- 4・この作業を繰り返し、必要な箇所すべてに付框を取り付けます。
- 5・天板は閉めずに、別の場所に置いておき、ボックスを連結する位置まで移動させます。



ボックスのヨコ連結

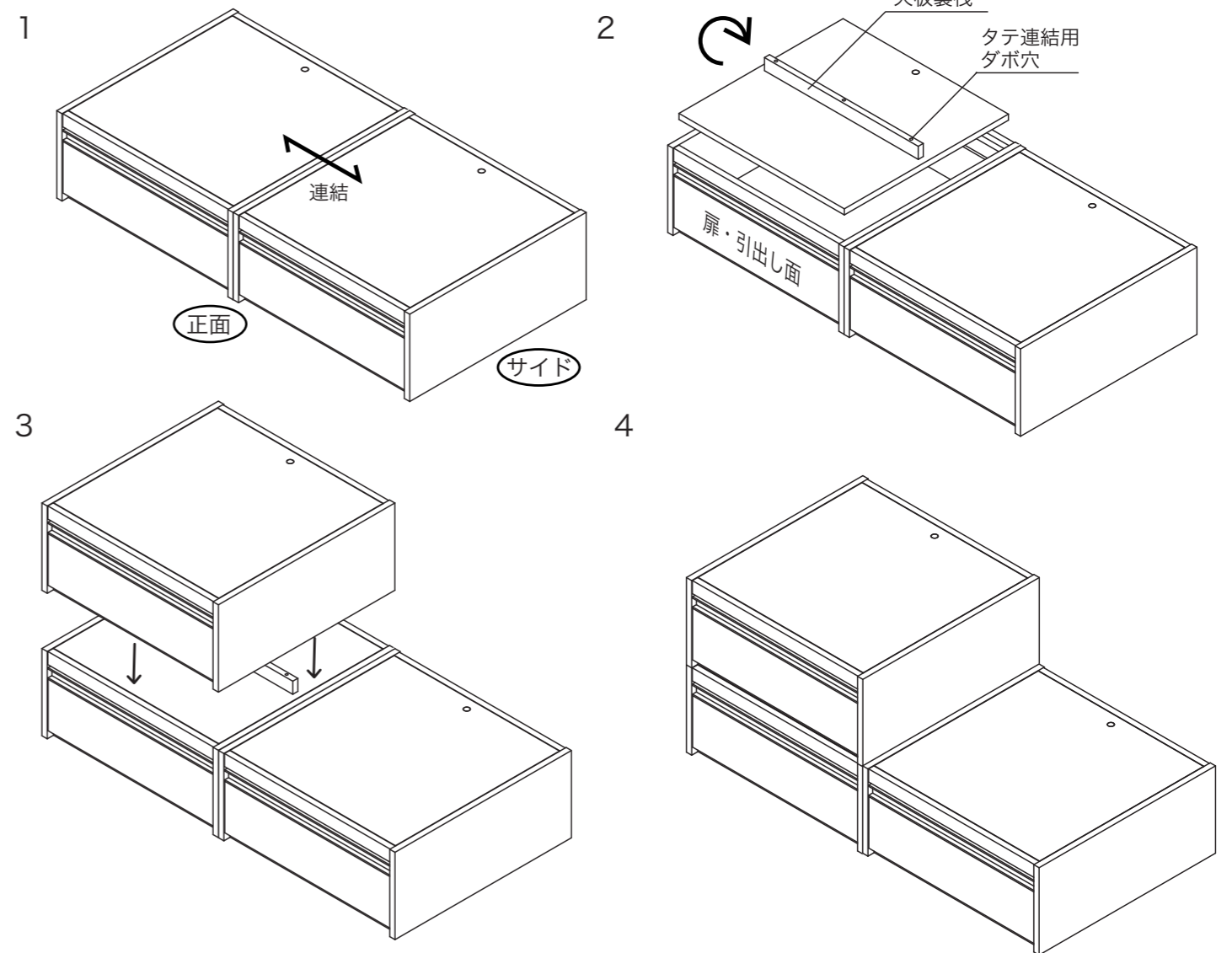


- 1・ボックスを設置場所まで移動させ、連結したいボックス同士を並べます。
※ボックスを移動する時、床面にキズが付かないようにご注意ください。
- 2・連結穴に連結金具をはめ、ドライバーで締めます。
- 3・一連結面に対し、2箇所連結金具を取り付けます。
安全のため必ずすべての連結穴を固定してください。
- 4・連結が完了したら、天板を戻します。

⚠ 専用ボルト・ナットに対して電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

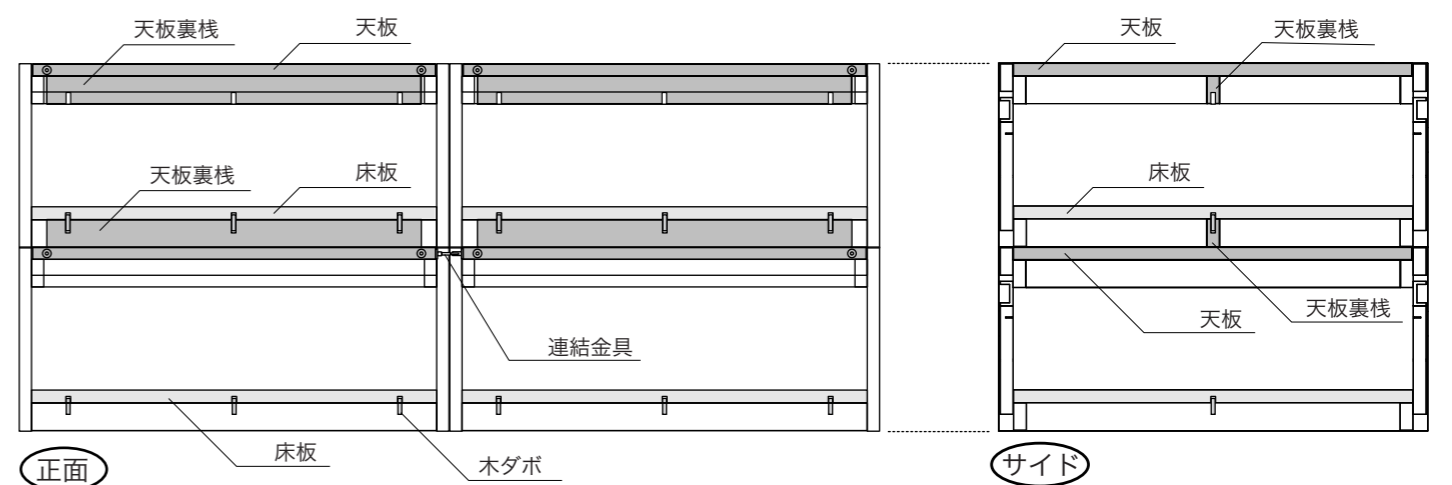


ボックスのタテ連結

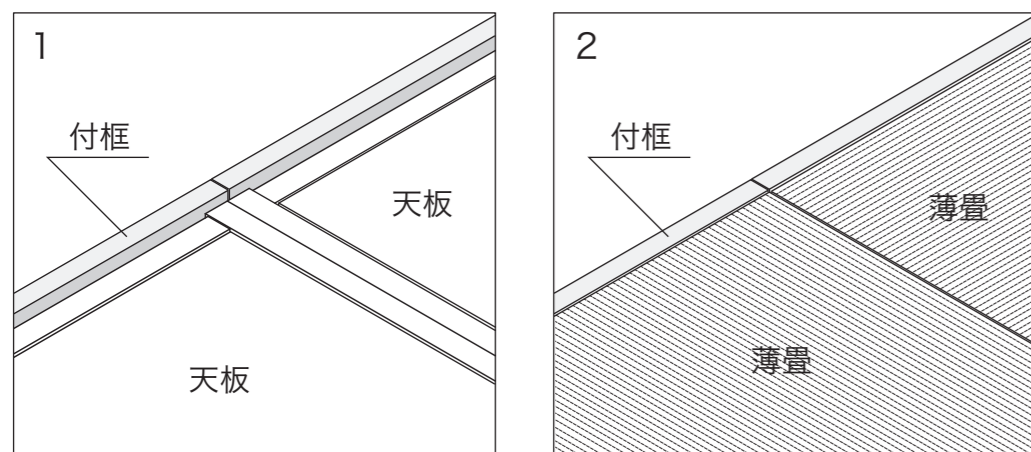


- 1・一段目のボックスすべてを設置したい場所に置きます。
先に、天板をはずし、連結金具でボックスのヨコ連結をしておきます。(左参照)
- 2・一段目の天板を裏返してはめ込みます。
この時、天板裏棧がボックス扉面(または引出し扉面)に対して平行になるように置いてください。
- 3・天板裏棧部分にあるダボ穴に、木ダボを差し込みます。
上に重ねるボックスの床板についている木ダボに天板のダボ穴を合わせてボックスを重ねてください。
- 4・この作業を繰り返し、タテ連結をおこないます。

※タテ連結は商品の性能上、4段までしかできません。
4段以上は絶対に積み上げないでください。



薄畳・化粧天板の敷き詰め



- 1・天板がきちんと閉まっていることを確認します。
- 2・ボックスの上に薄畳もしくは化粧天板を敷いていきます。
(薄畳の場合、畳の目を交互に敷くと美しく仕上がります。)